

令和4年第4回定例会一般質問順位表

順位	議席番号	氏名	質問事項及び要旨	(2-1)
1	11	安田 孝子	<p>(1) 平成21年度、国において創設されました「地域おこし協力隊」による移住・交流の推進について</p> <p>① 都市から地方への新たな流れを力強く創出するための地域おこし協力隊員のこれまでの本町での年次毎の人数と活動拠点についてお伺いします。</p> <p>② 地域おこし協力隊員の任期（1～3年）終了後の町内及び町外の居住者数・職業等について</p> <p>③ 地域おこし協力隊員が町内の活性化を図り定住していただく方策について、これまでの活動を踏まえてどのような課題がありますか。</p> <p>④ 特産品の振興をはじめ、地域ブランドや特産品の開発・販売・PR等の支援による上板町ならではの起業家をめざされる方への条件整備が必要だと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(2) 高齢者の健康促進対策について</p> <p>① コロナ禍の中、高齢者の外出自粛で在宅時間が長くなりフレイル傾向になっていると思われま。上板町地域包括支援センター事業の利用状況についてお伺いいたします。（令和2年・3年度）</p> <p>② 2025年には、団塊の世代が75歳以上になります。健康対策（フレイル予防）が今以上に必要になると思います。このことから、令和4年10月にフレイルサポーターを養成いたしました。この方々の活動の場づくりと現在、各老人集会所等において、いきいき100歳体操認知症予防体操等を実施し楽しく活動していますが、この中で体に付加をかけ筋力をつけることが重要とおききしています。そこでそのためには、アンクル・リスト、ウエイトが必要ですので、購入費の一部の補助を考えていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>(3) マイナンバーカードの今後の取得率の向上について</p> <p>① 本町のマイナンバーカードの取得率は、40.9%（10月末）と県平均48.6%と比べ県下で最下位となっておりますが、今後の取得率の向上に向けての対応について。</p> <p>② 本町におけるマイナンバー取得率は、本年度末（令和5年3月末日）の目標は、何%をめざして推進して参りますか。（マイナンバーカードの普及率で、国は、地方交付税・田園都市構想交付金の配分に反映されると言われていますが）</p>	
2	5	富永 志郎	<p>(1) 通学路の安全対策について</p> <p>① 町内において、野生動物（犬・猿・イノシシ等）や車の増加により、子供達の通学の安全が脅かされているが、町としてどのように把握し、今後どのように対策するのか。</p> <p>(2) 大災害に備えた避難訓練の定期開催について</p> <p>① 去る令和4年11月3日に、開催された防災フェスタや避難場所の確認（国交省）行事等のイベントを通じ、住民に周知徹底する機会を定期的に行うべきと思われるが、今後どのように取り組んでいくのか。また、当日の参加人数と改善点があれば教えて下さい。</p> <p>(3) 耕作放棄地や空き家内の雑木について</p> <p>① 高齢化や後継者不足により、年々増え続けている耕作放棄地や空き家内の道路にはみ出している雑木について、それらの追跡調査や指導についてどのようにしているのか。</p>	
3	7	村上 浩一	<p>(1) 議場におけるタブレット端末の導入について</p> <p>① 議員も理事者側も同時にノート型パソコンを導入する事で、人件費の抑制効果があり、事務の効率化を図る上で、非常に大切と考えられます。費用対効果を上げますと印刷製本費・議案書作成費・事務連絡費・等々で年間事務費委託料等が、約330万円軽減されました。2年間使用すると元が取れてその後は、事務費の抑制に、様々な面で大きくきよされます。傍聴者席にもスクリーンを置くなど聴覚障害者のお方にも配慮する事が求められると思っております。傍聴規則の変更も視野に入れる事、例えば、スマホの持ち込み禁止、撮影をした場合には傍聴の停止を3年～5年とする等。</p>	
4	12	乾 崇	<p>(1) 新ごみ処理施設の事業計画について</p> <p>① 中央広域環境施設組合議会で、新ごみ処理施設建設費が当初想定2倍近い73億6千万円、運営費が20年間で99億円、合計172億6千万円の債務負担行為について1市2町が賛成し原案のとおり可決しているが、上板町が原案のとおり賛成した理由（事業計画、投資額の妥当性）は。</p> <p>(2) 防災・減災対策について</p> <p>① 吉野川流域の水害を軽減させる治水対策として、国、県、市町村が連携して「吉野川水系流域治水プロジェクト」を策定しているが、上板町の対策内容は。</p> <p>② 上板町での吉野川流域とは吉野川と宮川内谷川の間地域になるが、治水対策としてどのような対策を講じているのか。</p> <p>(3) 耕作放棄地対策について</p> <p>① 上板町が把握している町内の田畑の面積、耕作放棄地の面積は。</p> <p>② 上板町が既に斡旋している田畑の貸し借りの面積。</p> <p>③ 現在耕作しているが、後継者がいない農地で将来遊休化が予想される面積は。</p> <p>④ 町内の専業農家で耕作面積を増やしたい農家はどの程度あるのか。</p>	
5	6	岩野 角雄	<p>(1) 介護給付費・介護保険料について</p> <p>① 介護給付費の負担割合と65歳以上の第1号被保険者の介護保険料の基準月額</p> <p>② 全国1,571の自治体・広域連合の中でも7,000円を超えるのは58か所という高額の介護保険料を設定する理由・現状について</p> <p>③ 令和3年度で介護保険料が残り3,000万円積み立てしているが、令和4年度の介護給付費の運営状況について</p> <p>④ 介護保険料を引き下げることにはできないのか。</p> <p>(2) 行政サービス・福祉サービスの充実のための人材の確保について</p> <p>① まちづくり計画等では行政サービス、福祉サービスの量的、質的な充実を推進するため、役場職員を養成し人材の確保を図ることを目標課題としている。ケアマネージャー（介護支援専門員）、手話奉仕員、認知症サポーター、ゲートキーパー、防災士、普通救命講習修了者などの養成状況について</p> <p>(3) 宅地開発等により新設された道路（以下「私道等」という。）の町管理について</p> <p>① 町宅地開発指導要綱を制定施行したのはいつですか。</p> <p>② 私道等を町道とした箇所はありますか。</p> <p>③ 私道等を町道とするか、町管理の道路とすることはできないのか。特に要綱制定前に設置された道路を町管理にできないか。</p>	

令和4年第4回定例会一般質問順位表

順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項 及 び 要 旨	(2-2)
6	10	柏木 美治代	<p>(1) 耕作放棄地が増えていることへの対策</p> <p>① 土地の放置で周辺の農地に悪影響を及ぼしているが、管理状況について。</p> <p>② 耕作放棄地の実態調査は。</p> <p>③ 耕作放棄地再生事業の利用状況は。</p> <p>(2) 学童保育について</p> <p>① 夏休み中の昼食の提供を（石井町では給食センターで1食220円で実施）。</p> <p>② 利用者のうち生活保護世帯は何件、ひとり親世帯は何件。</p> <p>③ 非課税世帯のひとり親家庭は利用料の2分の1となっているが、なぜ非課税世帯と限定するのか。ひとり親世帯全員に軽減を。</p> <p>(3) 入学支度金について</p> <p>① ひとり親家庭のうち、来年度入学予定の小学校・中学校への生徒数は。</p> <p>② ひとり親世帯への入学支援金の支給（阿波市1万円、石井町3万円）。</p> <p>(4) インフルエンザ予防接種について</p> <p>① 高齢者インフルエンザ予防接種の補助の増額を。1,600円の自己負担を減らしてほしい。</p> <p>(5) トイレの衛生備品の充実を</p> <p>① 学校女子個室トイレの生理ナプキンの常備をしてほしい。</p> <p>② 公共施設の男子トイレにサンタリーボックスの設置（尿漏れパッド等を入れるため）。</p>	
7	8	青山 紘一	<p>(1) 園児・児童・生徒の登下校時の安全対策について</p> <p>① 野生動物の目撃情報があった場合の対応は</p> <p>② イノシシなど野生動物との遭遇時の対応指導は</p> <p>③ 下校時の安全対策は</p> <p>(2) 子ども降ろし忘れ事故防止について</p> <p>① 車で保育所・幼稚園へ子どもを送ったさいの降ろし忘れ事故防止策は</p> <p>(3) 児童施設の信頼性点検について</p> <p>① 実施時期は</p> <p>② 点検結果は</p> <p>(4) 上板町が設置管理している案内標識について</p> <p>① 町が設置し管理している案内標識等の台帳整備は</p> <p>② 案内標識の定期点検実施は</p> <p>③ 町が設置し管理している案内標識のデザインの変更箇所と修理箇所は</p> <p>(5) 鳥獣害対策について</p> <p>① 有害鳥獣駆除数は</p> <p>② 継続的な有害鳥獣駆除は</p>	
8	3	前田 忠道	<p>(1) 河川管理について</p> <p>① 鳶谷川の堆積土砂への対応。光源寺北及び上流の浚渫</p> <p>(2) 水道事業について</p> <p>① 電磁流量計設置について</p> <p>② 電機計装設備の老朽化の一部故障の件</p>	
9	2	坂東 泰幸	<p>(1) 大山野外活動センター跡地について</p> <p>① 過去において課外活動の一環としてキャンプ等で活用していた場所を再度、キャンプ場として整備できないか。</p> <p>(2) 不登校児童生徒に対する多様な学習機会の確保について</p> <p>① 昨今、コロナ禍への影響やICTの普及により全国的に不登校の児童・生徒が増加傾向にあり、学校現場においても苦しい状況にある。本町においては、どのような状況であるのか。</p> <p>② 不登校児童・生徒においては、当然ながら学習機会が奪われるため勉強への遅れが生じてくる。このことに対してはどのように対応しているのか。</p> <p>③ あいっ子学級の活動状況と指導方針はどのようになっているのか。</p> <p>④ 現在、民間等のフリースクールがあるが本町の不登校児童・生徒は通所しているのか。通所しているのであれば支援はできないのか。</p>	